

「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」

舘矢間小防災だより 2022

第2号 令和5年1月12日（木）発行

■地域連携型学校防災体制等構築推進事業2年目

推進事業2年目は、1年生から6年生まで防災授業や復興現場などの見学なども取り入れ、「丸森未来防災フェスタ2022」で学習した内容を地域の方々に向けて発表しました。各発表には、国土交通省宮城南部復興事務所、丸森町建設課、丸森町消防防災班、学校防災アドバイザー柴山先生から児童へ助言をいただきました。各学年の防災学習をまとめたパネル、宮城南部復興事務所から借用したパネルを体育館に展示しました。また段ボールベッドや簡易トイレ、パーテーションなどの防災用品も並べました。

当日は、ご多用の中、多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。子供たちは、自分たちの減災・防災について調べたことを発表することができました。今後も全校で防災教育に継続して取り組んでまいりますので宜しくお願い申し上げます。

■「丸森未来防災フェスタ2022！」令和4年11月11日（金）

5・6年児童が14グループに分かれてテーマごとに発表しました。

参加者：地域住民、保護者、区長様

助言者：国土交通省宮城南部復興事務所
学校防災アドバイザー 柴山明寛様
町役場建設課、町役場消防防災班

内 容：自分の身を守るために大事なこと
～避難訓練の実践を通して～

備えよう断水

大切にしよう水

地震の時の備え

洪水の対策と備え

暴風の被災と対策

ボランティア活動を通して私たちが考えたこと
自分たちにできる支援

台風が起きる前の備え

もしまた自然災害が起きたら自分は何をすれば
よいか



■「丸森未来防災フェスタ 2022」児童、参加者からの感想

【参加児童5年】

- ・地域の方に言われた「地域の高齢者にも教えてください」と言われたので地域の高齢者の方々に教えたいです。

【参加児童6年】

- ・今年のテーマが、「実践する」ということだったので去年とはまた違った形で発表できたので良かったです。これからも防災意識をもっと高めていきたいと思います。

【保護者】

- ・発表を聞いて災害の時に自分を守る行動、助け合う行動などが分かり勉強になりました。ありがとうございました。

【地域の方】

- ・この機会に地域の特色、災害対策を十分理解されたと思います。実践してください。継続することが大事です。
- ・地域でも避難訓練を実施し、地域の方々の防災意識の高揚に努めているところです。子どもたちの調べたことは、家族や地域にも伝えていただきたいと思います。

【助言者】

- ・今回学んだことを再度見つめ直し、地域の人や家族にも伝えてほしいです。
- ・自分の地域を防災面で学習することで郷土への思いも深まるものと考えます。今後も館小の特色として続けていただきたい。

■令和4年度ぼうさい甲子園「はばタン賞」入賞！

- ・館矢間小学校の防災への取組について応募したところのはばタン賞に入賞しましたのでお知らせいたします。（応募総数123校・団体）
- 趣 旨：阪神・淡路大震災の経験を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える「防災教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、子どもや学生が学校や地域において主体的に取り組む「防災教育」に関する先進的な活動を顕彰します。
- 兵庫県、（株 毎日新聞社 公財 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター）の共催
- はばタン賞：被災経験と教訓から生まれた優れた取組みに対し授与されました。
【内容】児童向けの防災教育の実施及び学校と地域が防災について考える「丸森未来防災フェスタ」の実践

■館矢間小ホームページ 防災教育のページ

本校での2年間の防災教育実践について紹介しています。

- ・防災研究授業
- ・防災研修会：外部講師による研修会
- ・防災教育に関する実践 等

